ウォークラリー (3.5km・7km・10km)

ウォークラリーは、グループで「コマ図」をたよりにコースを歩き、得点やタイムを競う活動です。ポイントに問題を設定することもできます。交流の家周辺の自然や街並みの中を歩き、各グループで協力しながら活動します。

場所

交流の家周辺

対象

小学生以上

所要時間

Ⅰ~4.5 時間

人数

何名でも可

時期

全シーズン

天候

荒天時不可

指導

職員指導あり ※安全指導のみ

提出書類

実施計画書

経費

なし



活動の 教育的効果	(1)グループの仲間と全行程を歩くことで、自然に親しみ達成感を味わうとともに、互いに励まし合うことにより仲間意識を深めることができる。(2)グループの仲間と話し合って順路を決定したり、課題を解決したりすることで、協調性を育んだり、コミュニケーション力をつけたりすることが期待できる。				
準備 するもの	団体が準備するもの				
	□個人: 筆記用具、帽子、水筒、必要に応じて雨具やタオル等 □団体: 問題用紙、ゴール問題、救急バッグ、グループ名簿、緊急連絡網等				
	交流の家が貸し出すもの				
	□コマ図 □バインダー □ビブス				
	※コマ図はラミネートしたものの貸し出しが可能。				
	※上記の物品は グループに セットの貸し出しが可能。				
備考	□コマ図、問題用紙、ゴール問題はホームページからダウンロード可能。				
	□緊急時の対応手段を決めておく。				

活動の流れ

ウォークラリー (3.5km・7km・10km)

活動内容(手順)	時 間	項目	内 容	備考		
	事前	コース決定準備・指導	□コースを決定し、実施計画書を活動の I 週間前までに提出 □引率者による事前踏査 □グループ編成	□実施計画 書の提出		
	出発前	実施決定の判断	□実施判断 □物品を受領(貸出物品参照) □参加者の健康観察 □本部設置	□必要であれば 机と椅子を準備		
	直前	活動方法 の説明	□活動の説明 ・競技の方法・コマ図の見方・安全指導	□出発前にトイ レを済ませる		
	出発 I ~4.5 時間	交流の家 出発	□時間差をつけて出発 □各ポイントで人数確認、健康観察	□緊急対応 □定時連絡		
	終了30分	交流の家 到着	□参加者の点呼、健康状態の確認 □各団体の目的に応じた事後指導			
想定される リスク	□天候の変化による事故(濃霧による迷子、雨による路面転倒、落雷等) □疲労や集中力低下による事故(交差点での接触事故、走行車両の見落とし、熱中症等) □道路環境による事故(側溝への転落、曲がり角での事故等) □人的要因で起こる事故(車道に広がって歩くことによる接触事故等)					
指導の バリエーション	□得点を競う競技として実施する。 □各ポイントの課題を、ねらいに応じて設定する。 例:自然に親しむような課題。「ポイント近くで生えている草花をスケッチすること」等					

ウォークラリー各コースの概要

コース名		対象	歩行時間	特徴
①中畑西、滝ケ原				住宅地の舗装道路を歩く。
②野中山、龍王堂	3.5km	小学生~大人	1.0∼1.5 時間	林道を含めた住宅地を歩く。
③団合、大胡山	- 01	小学生~大人	2.0~3.0 時間	周囲に田畑が多く、景色が良い。
④善龍寺、愛宕神社	7.0km			寺や神社を見ながら、住宅地を歩く。
⑤久保川、永塚		中学生~大人	3.0~3.5 時間	直線道路が多く、緩やかな坂がある。
⑥八王子、玉穂	10.0km			曲がり角が多い住宅街を歩く。

※①~⑥までのそれぞれ2コースは反対周りです。例えば①の「中畑西」の反対周りが「滝ケ原」です。